

## ●株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料) 〔受付時間9:00～17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕 ホームページ <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>
上 場 証 券 取 引 所	大阪証券取引所
公 告 方 法	日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。
- 大阪証券取引所は、平成25年7月16日付をもって東京証券取引所と市場の統合を行う予定のため、同日以降当社の上場証券取引所は東京証券取引所になる予定です。



## ホームページのご案内

当社HPにおきましても最新のトピックスをはじめ、様々な情報をご案内しております。



<http://www.molitec.co.jp/>



### IR情報メール配信サービス

Eメールアドレスをご登録頂いた皆様に最新の当社IR情報をEメールでお知らせいたします。ご希望の方はトップページからご登録ください。

## CONTENTS

トップメッセージ	P 1
連結財務ハイライト	P 2
部門別の概況	P 3~4
連結財務諸表	P 5~6
環境への取り組み	P 7
グローバルネットワーク	P 8
会社情報	P 9
株式情報	P 10



本報告書は、環境保全のため、  
植物油インクで印刷しています。

**MOL!TEC**

モリテック スチール株式会社

**MOL!TEC**

モリテック スチール株式会社

証券コード：5986



株主の皆様には、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、当社第72期（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の営業の概況をご報告申し上げます。

平成25年6月

取締役会長 清水 正廣

## 営業の概況

### 営業の経過及び成果

当期におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要による穏やかな回復の兆しが見られたものの、円高の長期化や欧州債務危機、世界経済の減速懸念が高まるなど、先行きは不透明な状況で推移いたしました。年明け以降は、経済対策、金融政策への期待感等により、為替相場が円安に転じ、株価が上昇するなど、景気が好転する兆しが見受けられました。

このような状況下におきまして、当連結会計年度の当期売上高は226億4千7百万円、営業利益は6億9千8百万円、経常利益は7億9千1百万円、当期純利益は3億3千1百万円となりました。

セグメント別の売上高、営業利益につきましては、特殊帯鋼、普通鋼等を販売しております商事部門では、売上高は136億4千3百万円、セグメント利益（営業利益）は6億1千6百万円となりました。

焼入鋼帯、鋅金加工品を製造販売しております焼入鋼帯部門、鋅金加工品部門では、焼入鋼帯部門につきましては売上高は16億3千2百万円、セグメント利益（営業利益）は2億4千7百万円となりました。鋅金加工品部門につきましては売上高は67億3千3百万円、セグメント利益（営業利益）は7億5千1百万円となりました。

また、海外事業につきましては、売上高は6億3千7百万円となりました。

### 今後当社グループが対処すべき課題

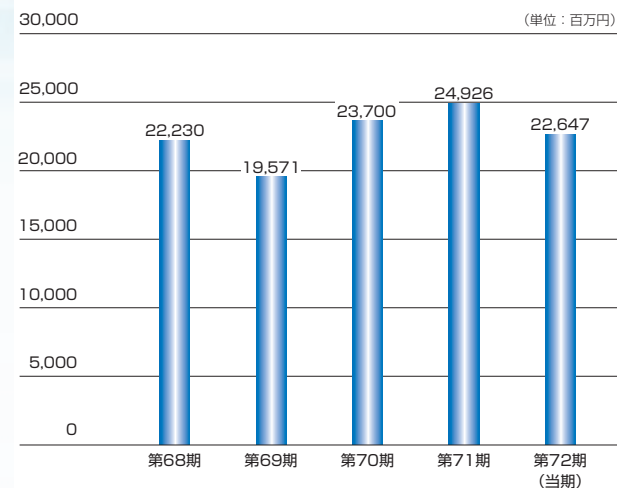
当社グループは、持続的な成長を目指して、特殊帯鋼の専門商社及び焼入鋼帯・鋅金加工品のメーカーとして、特殊帯鋼の市場占有率の向上を図るとともに、特殊帯鋼の特性を熟知した加工技術をもつ強みを活かした製品を自動車のエンジン・ミッション、農業機械、住環境機器などの広範な市場に提供してまいります。

また、価値提案企業として、特殊帯鋼の加工性情報を活用した販売に努め、広幅焼入鋼帯のさらなる市場創造と、自動車エンジン・ミッション分野へのアッセンブリ製品の展開、農業機械分野へのモジュール製品などの高機能な複合製品の展開をさらに強化するとともに、自社ブランド製品の開発に努めてまいります。

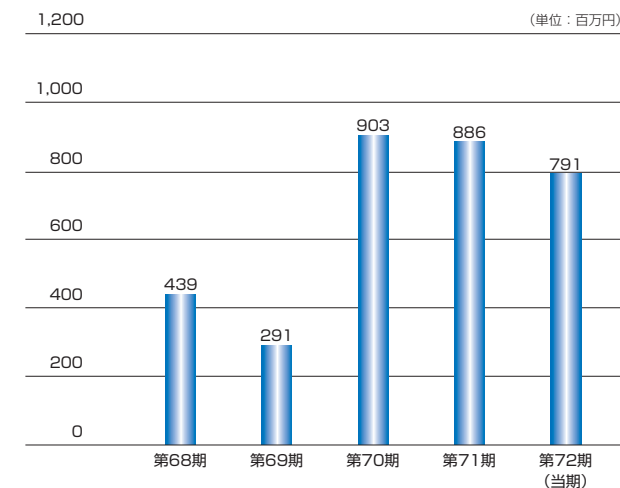
今後の海外市場における需要ニーズへの迅速な対応と新規需要開拓を積極的に推進するために海外拠点の生産体制、販売体制を強化し、グローバル展開を推進してまいります。

当社グループは、環境保全の取り組みを経営上の重点課題の一つと位置づけ、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の活動を推進し、環境への負荷低減に努めるとともに、環境にやさしい製品を生産してまいります。

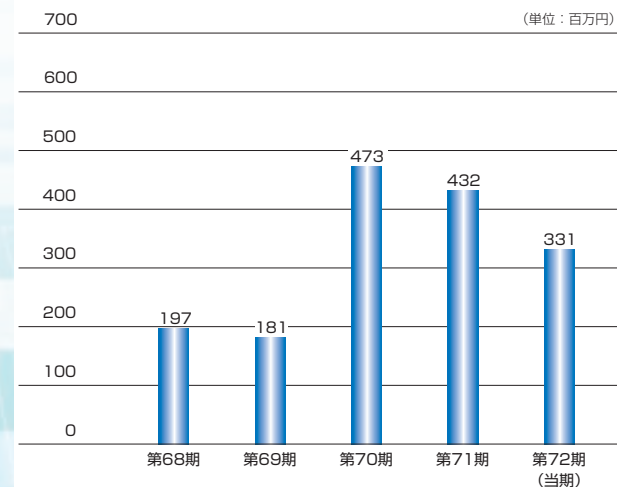
### ●売上高



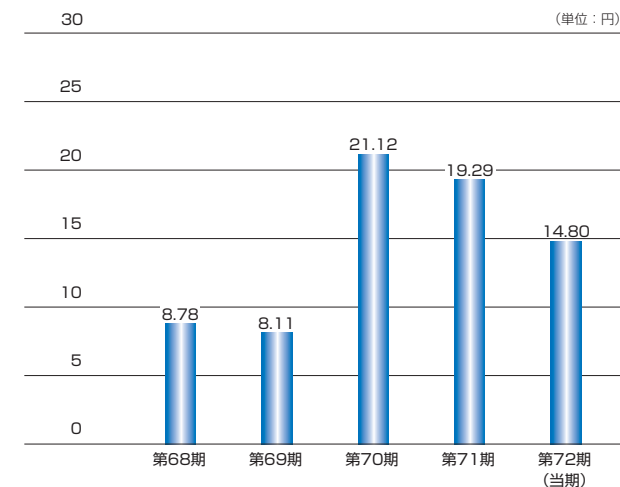
### ●経常利益



### ●当期純利益



### ●1株当たり当期純利益



(注)当期より連結ベースで記載しております。



部門別の概況

鍛金加工品部門

売上高 6,733百万円

取扱製品

- ・自動車用機能部品
- ・家電用精密部品
- ・農業機械用モジュール部品
- ・ゼンマイ製品
- ・コードリール
- ・金型
- ・各種アッセンブリ製品



自動車部品



CVT部品



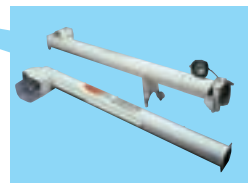
家電部品



コードリール



農業機械部品



オーガ

海外事業

売上高 637百万円

焼入鋼帯部門

売上高 1,632百万円

取扱製品

- ・焼入鋼帯
- ・バーナイト鋼帯



焼入鋼帯



刃物（用途例）



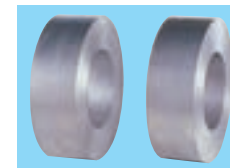
ゼンマイ（用途例）

商事部門

売上高 13,643百万円

取扱商品

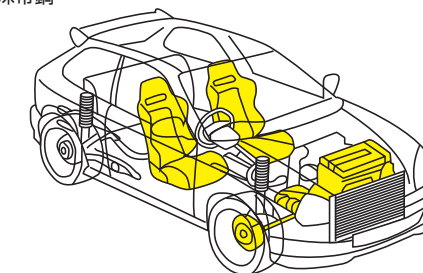
- ・みがき特殊帯鋼
- ・熱間圧延鋼帯
- ・みがき帯鋼
- ・冷間圧延鋼帯
- ・ステンレス鋼帯
- ・ばね用ステンレス鋼帯
- ・表面処理鋼板



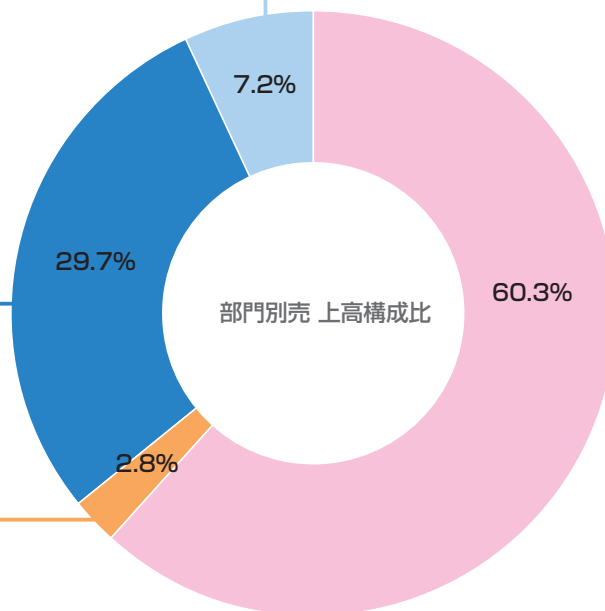
みがき特殊帯鋼



ステンレス鋼帯



当社取扱商品は自動車部品（エンジン、ミッション、ブレーキ、シート等）をはじめ、各種機能部品に使われております。

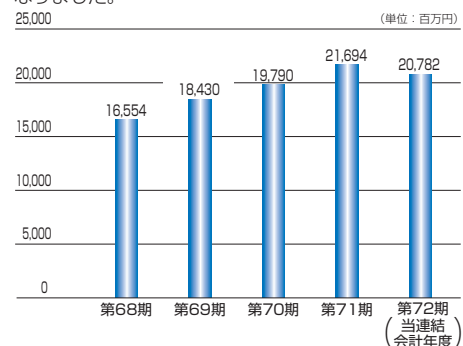


区分	売上高（百万円）
商事部門	13,643
焼入鋼帯部門	1,632
鍛金加工品部門	6,733
海外事業	637
合計	22,647

## 連結財務諸表

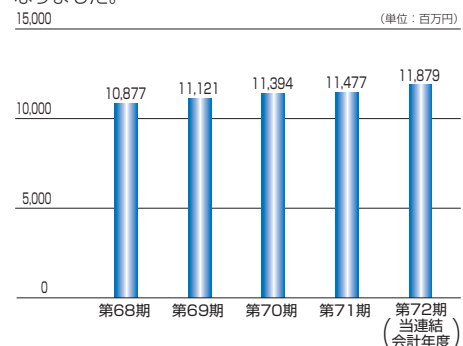
## Point① 資産合計

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末より9億1千1百万円減少し、207億8千2百万円となりました。



## Point② 純資産合計

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末より4億1百万円増加し、118億7千9百万円となりました。



## 連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	前連結会計年度 (平成24年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成25年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	15,890,573	14,013,715
固定資産	5,803,513	6,769,208
有形固定資産	3,820,607	4,722,716
無形固定資産	43,518	39,271
投資その他の資産	1,939,387	2,007,220
<b>Point① 資産合計</b>	<b>21,694,086</b>	<b>20,782,924</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	9,313,702	6,827,355
固定負債	902,616	2,075,828
<b>負債合計</b>	<b>10,216,318</b>	<b>8,903,184</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	11,326,419	11,456,323
資本金	1,848,846	1,848,846
資本剰余金	1,469,608	1,469,608
利益剰余金	8,048,064	8,177,993
自己株式	△ 40,100	△ 40,124
その他の包括利益累計額	148,840	420,362
その他有価証券評価差額金	210,853	374,899
為替換算調整勘定	△ 62,012	38,839
繰延ヘッジ損益	—	6,624
少数株主持分	2,507	3,053
<b>Point② 純資産合計</b>	<b>11,477,767</b>	<b>11,879,739</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>21,694,086</b>	<b>20,782,924</b>

## 連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)
売上高	22,647,298
売上原価	19,454,865
売上総利益	3,192,433
販売費及び一般管理費	2,494,303
営業利益	698,129
営業外収益	96,917
営業外費用	3,786
経常利益	791,260
特別利益	4,307
特別損失	196,249
税金等調整前当期純利益	599,318
法人税、住民税及び事業税	286,515
法人税等調整額	△ 18,937
少数株主損益調整前当期純利益	331,740
少数株主利益	144
当期純利益	331,596

(注) 当連結会計年度より連結損益計算書及び連結キャッシュ・フロー計算書を作成しておりますので、前年同期比較は行っていません。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)
<b>Point③ 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>197,892</b>
<b>Point④ 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 1,640,031</b>
<b>Point⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>905,244</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	56,883
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 480,010
現金及び現金同等物の期首残高	5,321,157
現金及び現金同等物の期末残高	4,841,146

## Point③ 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益を5億9千9百万円、非資金項目である減価償却費を4億9千5百万円計上したほか、売上債権の減少11億5百万円、たな卸資産の減少2億7千9百万円、仕入債務の減少20億2千4百万円、法人税等の支払い3億6千2百万円等により、1億9千7百万円の資金増加となりました。

## Point④ 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得16億1千7百万円等により、16億4千万円の資金減少となりました。

## Point⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入11億8千万円、配当金の支払い2億1百万円等により、9億5百万円の資金増加となりました。

(注) 連結貸借対照表は前連結会計年度末より作成しているため、第71期より連結ベースで記載しております。



### ISO14001 (環境マネジメントシステム規格) 認証取得

三重大山田工場	取得日: 2002年5月10日	ジュタワン・モリテック (タイランド) 株式会社	取得日: 2007年1月16日
宇都宮工場	取得日: 2004年6月25日		
本社・営業部門	取得日: 2006年4月28日		

当社グループは、今後の海外市場における需要家ニーズへの迅速な対応と新規需要開拓を積極的に推進するために海外拠点の生産体制、販売体制を強化し、グローバル展開を推進してまいります。

自動車生産が今後も増加することが予想される北米・中南米市場における自動車メーカーからの受注拡大を目指し、2013年3月、アジア以外では初の現地法人を設立しました。

### 1 環境に対する取り組みと考え方

当社グループは環境保全への取り組みを経営上の最重要課題の一つと位置づけ、あらゆる面での環境への負荷低減に努めるとともに、環境保全に配慮した製品を提供すること(設計開発、生産工程、原材料、物資の投下及び廃棄、物流等の各過程において省資源、省エネルギー、リサイクル等への配慮)、また法令遵守はもとより、環境教育の強化を図ることによって持続的に発展が可能な社会の構築に貢献してまいります。

### 2 環境への配慮

室内物干し「ルームハンガー」



クリーンエネルギーであるゼンマイを利用した当社のブランド製品です。

電気自動車



環境に配慮した車両の導入を進めております。

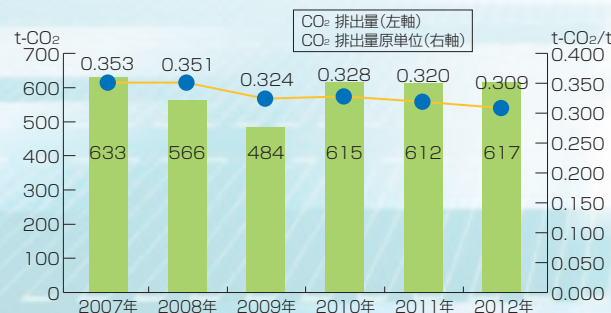
### 3 製造部門におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減

当社はCO<sub>2</sub>排出量削減に全社的に取り組み、2010年度より目標として生産原単位で、2009年度対比毎期1% (目標3年で3%) 以上削減の自主目標を掲げ、その達成に向け様々な取り組みを展開してまいりました。

その結果2012年度(平成25年3月末)において、原単位(t-CO<sub>2</sub>/t)で0.309と2009年度実績(0.324)対比4.6%の削減となり、目標の3%削減を達成することができました。なお、排出量におきましては、原子力発電所停止による影響が大きく、前年対比5t-CO<sub>2</sub>増加いたしました。(2011年度: 612t-CO<sub>2</sub> 2012年度: 617t-CO<sub>2</sub>)

今後は、新たに3ヶ年計画での削減目標(2012年度比3%以上削減)を掲げ、目標達成に向け取り組んでまいります。

製造部門CO<sub>2</sub>排出量と生産原単位(月平均)



CO<sub>2</sub>換算係数=2007年度~2012年度各年度の排出係数で算出



第1工場

本社・第2工場



会社情報 (平成25年3月31日現在)

■ 会社概要

商号 モリテックスチール株式会社  
 創業 昭和18年5月  
 設立 昭和25年11月  
 資本金 18億4,884万6,387円  
 従業員 301名

■ 役員

取締役社長	清水 正廣	監査役(常勤)	橋本 清司
取締役副社長	五島 吉朗	監査役(常勤)	森 剛之
専務取締役	永見 研二	※ 監査役	中尾 卓
常務取締役	赤尾 正則	※ 監査役	田原 尚登
常務取締役	木村 慎一	※ 監査役	阪口 誠
取締役	谷口 正典	(注) ※印は、会社法第2条第16号及び第335条第3項に定める社外監査役であります。	
取締役	糸川 哲朗		
取締役	松下 善紀		
取締役	門 高司		
取締役	森 泰之		

■ 事業所所在地

《国内》

- ◎ 本社：大阪
- 営業拠点：大阪、東京、名古屋、広島、北海道、九州（福岡）
- 工場：三重、宇都宮



株式情報 (平成25年3月31日現在)

■ 株式の状況

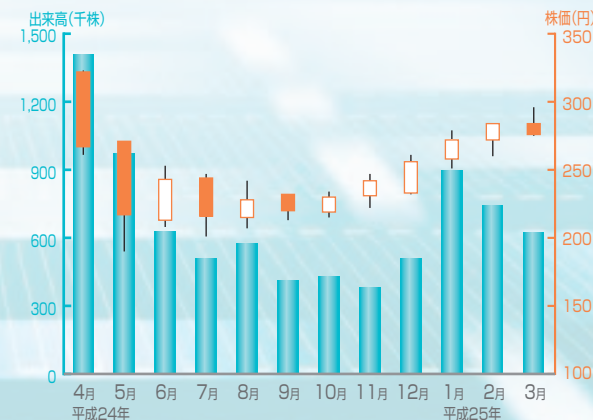
発行可能株式総数 50,000,000株  
 発行済株式の総数 22,407,386株  
 (自己株式150,677株を除く。)  
 単元株式数 100株  
 株主数 3,227名

■ 大株主の状況

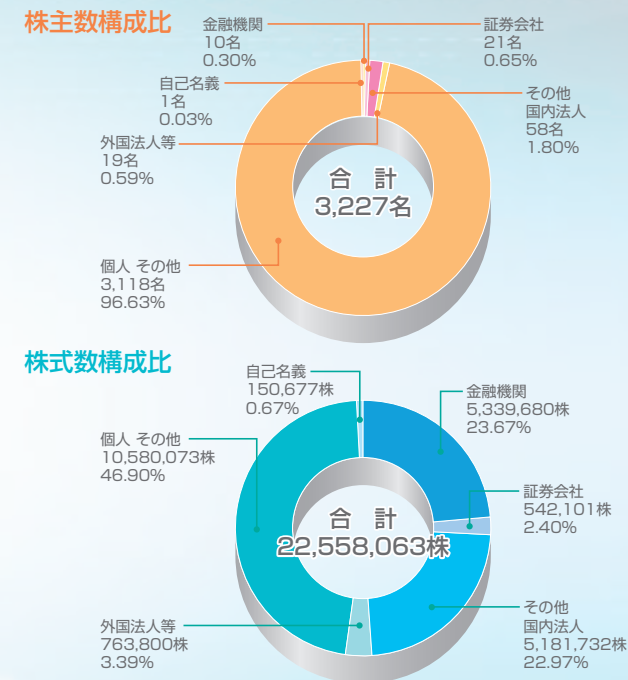
株主名	持株数	持株比率
	千株	%
日新製鋼株式会社	2,244	10.02
株式会社メタルワン	1,992	8.89
日本生命保険相互会社	1,310	5.85
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,110	4.96
株式会社近畿大阪銀行	960	4.29
株式会社みずほ銀行	780	3.48
大同生命保険株式会社	600	2.68
森 文子	492	2.20
森 浩之	466	2.08
第一生命保険株式会社	450	2.01

(注) 持株比率は自己株式(150,677株)を控除して計算しております。

■ 株価推移表



■ 株式の状況



■ 1株当たり年間配当金(円) 配当性向の推移(%)

